

標茶中学生との座談会

標茶中学校3年生との座談会

鴻池 智子 議員

町議会として初の試みである標茶中学校3年生との座談会が11月24日午後より中学校体育館で行われました。議員3年目の私としては、不安と緊張でいっぱいでした。子ども達の真剣でまっすぐな目の輝きを感じました。事前授業もしっかりと取り組んだとのこと。内容も一つ一つ具体性のある物で、これからの標茶の未来図を話していただき、明るい希望を感じました。すぐにでも実行するべき案もあり、私達も若い世代と共に取り組むべきと考えさせられました。一つでも多く形として残してあげたいとの責任を新たにできる機会となりました。今回の企画を一回きりのものとせず今後も続けていくことが大事であると思います。今回は私達議員にとっても大変勉強になりました。今後の活動につなげていきたいとあらためて決意をいたしました。



標茶中学生との意見交換会

松下 哲也 議員

初めて取り組んだ中学生との座談会であるが授業の形態で行われ、生徒の積極的な姿勢と提案を聞く機会を頂いた事に感謝したい。

中学生の目線で本町をしっかりと見つけ分析しこれからの町作り構想を様々な分野から提言を頂いた。基幹産業の更なる発展プラン、観光資源の有効活用、情報発信、グッズ商品化等々若い世代の感覚に多くの刺激を受け、次の世代の為にも更なる魅力ある町づくりに取り組む責任を改めて痛感させられる機会であった。



標茶町学校給食共同調理場が完成

標茶町学校給食共同調理場が完成し、令和3年11月24日に視察、令和4年1月7日に試食会が行われました。

視察時には担当課の説明をもとに各施設内を見学しました。最新の設備が設置されており、調理にあたっての徹底した衛生管理がなされている事がうかがえました。昨今ではO157やその他食中毒対策だけではなく新型コロナウイルスなどのウィルス対策の必要性が重要視されていますが、当施設では万全な体制がとられているので児童生徒に安心して食事してもらえることと思います。

また試食会では実際に新しい施設で作られた食事を理事者・議員で試食しました。メニューはご飯に味噌汁、唐揚げとカボチャのサラダでした。給食で使う食器で美味しくいただきましたが、数十年ぶりに味わう懐かしさと味付けの工夫に感心していました。小学生では約630キロカロリー。中学生では約810キロカロリーだと知りましたが、我々も普段からカロリーを意識した食生活が必要だと感じる試食会でありました。



厚生文教委員会所管事務調査報告書

- 調査日時：令和3年 7月19日午前10時～
令和3年11月10日午前10時～
- 調査場所：特別養護老人ホームやすらぎ園

1. 調査事項

特別養護老人ホームやすらぎ園の現状と課題について

2. 出席者

委員 深見委員長、類瀬副委員長、長尾委員、鈴木委員、黒沼委員、後藤委員、菊地議長
 説明者 穂刈やすらぎ園長、榎山庶務係長、齋藤業務係長、村山生活相談係長、石塚保健福祉課長
 佐藤介護保険係長
 事務局 中島議会事務局長、中嶋議会議事係長、和田議会庶務係長

3. 主な資料説明

穂刈やすらぎ園長から、主に以下の事項について説明があった。

- ①介護職員及び事務職員の現状と課題
- ②100床のフル稼働についての現状と課題
- ③待機者の現状、今後のニーズ
- ④「やすらぎ園」の改築計画について
- ⑤当面する必要な施設整備、改修の課題について
- ⑥入園に関する費用について
- ⑦現在の直営方式と民間委託について
- ⑧入所対象は原則介護度3以上となっているが、特例的な入所について
- ⑨新型コロナウイルス感染症の対策・家族や友人との面会等について説明を受けた
 - ・職員体制では、現在定数から不足している現状にあり、そのことから、入所定員を100名から80名、短期入所を12名から6名に制限せざるを得ない状況にある。職員の募集をしているが、応募がない状態が続いていて、今後の町の労働人口の減少は避けられないこともあり、職員確保については困難が予想される。また、会計年度任用職員の年齢構成から、今後数年間、退職者が続く可能性もあるので、人員不足を補う方法等調査検討する必要がある。
 - ・人員不足を補う一つの方法として、遠方しながら職員間での利用者の状況の共有が可能になる介護業務支援機器「ICT「インカム」」を導入した。引き続き人員不足を補うため機器の導入など調査研究を進めていく必要がある。
 - ・待機者の現状は、町内外、男女合わせて96名で、この内要介護3以上が68名となっている。緊急の場合は、入園利用者調整会議を開催し、最優先の対応をしている。
 - ・築47年が経過しているやすらぎ園の改築計画については、軽費老人ホーム「駒ヶ丘荘」も視野に入れた整備方針を早急に確立する必要がある。なお、建物の耐用年数は、北棟であと22年、南棟で25年残っている。人員確保、利用ニーズを見据えた利用定員の設定など検討すべき課題は多くある。また、民間を活用した運営方法の検討も考えている。今後、補助金等も踏まえ実施スケジュールを検討していく。なお、病院を利用した介護医療院については、現状では困難であるとの判断に至った。
 - ・新型コロナウイルス感染症の対策・家族友人等の面会については現在、11月8日から別室ではあるが直接面会できるようにした。

3. 主な質問

- ・人員の確保、施設のあり方、ユニット方式の導入、改築について財政確保も含めて具体的な計画を早めるべき、利用者の経済状況、低所得者への配慮などについて質問があった。

4. 委員会の所見

- ・職員の定数は決まっているが、現状、入所希望者が相当数いることから、定数を変えてでも100名の定員を維持すべきであり、そのための手立てを早急に検討すべきである。
- ・特別養護老人ホームとケアハウス（軽費老人ホームC型）併設の方向性については、現実的な課題ではあるが、議会や町民の意見を取り入れながら早い時期に示すことが必要である。
- ・現状抱えている特養やすらぎ園の課題について、研究、検討から進んでいるように見えない。本福祉政策の要として早期に方向を示すことが必要であり、同時に研究、検討の進捗状況を出来るだけ明らかにしながら進めるべきである。

総務経済委員会所管事務調査報告書

○ 調査日時：令和3年11月16日

○ 調査場所：標茶町多和育成牧場

1. 調査事項

多和育成牧場の経営状況について

2. 出席者

委員：松下委員長・鴻池副委員長・渡邊委員・熊谷委員・本多委員・菊地委員

説明員：若松育成牧場長・山崎次長・溜田管理係長

事務局 中島事務局長・中嶋議事係長

3. 調査の経過及び内容

提示された資料に基づき説明を受け質疑を行い、その後利用休止中の7、8号牧区の現地視察を行った。令和2年度牧場決算の状況、草地の整備方針、建物・施設の整備方針、車輛・機械の整備方針及び収支見込が令和11年度まで示された。

収支決算では2,265万円の収支不足となっているが、購入飼料費13,359万円の内、粗飼料購入が5,340万円である。草地整備（更新）は3年度から7年度まで道営事業で265ha、11年度まで直営事業で簡易更新や施肥管理の草地整備を300ha行うとしている。

建物・施設整備では3年度にバンカーサイロ10基が整備されたが、7年度までに道営事業で畜舎1棟関連施設の建設が予定されている。車輛・機械整備では年度毎に更新導入の予定計画が示されている。

4. 委員会の所見

近年、町内に民間経営の預託牧場や哺育センターが数社設立され順調な運営がされている中で、町営の育成牧場として長年、運営されてきた意義・役割は大きなものがあると理解される。また、観光牧場としての役割も求められ、めん羊飼育による就労の場の提供の役割も果たしてきた。

今後の育成牧場の方向として、いかに安定した経営を目指すためには所有面積に見合った受け入れ頭数の設定が必要と考える。令和5年より夏季2,300頭、冬季2,000頭、哺育500頭に設定してバランスのとれた収支見込みを示している。経営収支に大きく影響を与えるのは、購入飼料費であるが、そのうちの40%弱が粗飼料の購入になっているということは、適正な受け入れ頭数を超えた状態といえる。利用休止中の牧区の草地整備を進め、粗飼料確保に向けた取組みを強化すべきと考える。バンカーサイロの整備に合わせ1年分の粗飼料の在庫量を目標とすることで早期の達成を願う。

上オソベツ団地の施設については、緊急時に利用するとなっているが、水道施設の復旧が現実的に困難なことを考えると今後に向けた検討を進めていくべきと考える。

めん羊事業については、令和2年第1回定例会で「めん羊振興に関する条例」が制定された。標茶町育成牧場において、優良なめん羊を育成し生産された羊肉と羊毛の還元に努め畜産と観光の振興に寄与することを目的に必要な事項を定めたものである。肉のブランド化が大きく期待されているが、事業の取組みが進んでいないのが実態である。様々な要因があげられているが早期に強力な取組みをしていくことを期待する。

◆◆◆◆ 令和3年 第6回臨時会賛否一覧 ◆◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	渡邊 定之	類瀬 光信	長尾 式宮	松下 哲也	熊谷 善行	鈴木 裕美	深見 迪	本多 耕平	黒沼 俊幸	鴻池 智子	後藤 勲	菊地 誠道	結果
議案第68号 工事請負契約の締結について	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○		原案可決
議案第69号 工事請負契約の締結について	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○		原案可決
議案第70号 工事請負契約の締結について	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○		原案可決
議案第71号 財産の取得について	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○		原案可決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、可否同数以外の採決には加わりません。)

◆◆◆◆ 令和3年 第4回定例会賛否一覧 ◆◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	渡邊 定之	類瀬 光信	長尾 式宮	松下 哲也	熊谷 善行	鈴木 裕美	深見 迪	本多 耕平	黒沼 俊幸	鴻池 智子	後藤 勲	菊地 誠道	結果
議案第84号 名誉町民の決定につき議会の議決を 求めることについて	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決
議案第85号 令和3年度標茶町一般会計補正予算	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、可否同数以外の採決には加わりません。)

意見書

次の2件の意見書が提出され、いずれも可決されました。

◆意見書第17号 (可決)
加齢性難聴への補聴器購入のための国の助成を求める意見書

高齢者が経済的な理由によって補聴器の購入困難を招き、日常生活や社会的活動に制約が加わる事のないよう、国に補聴器購入の公的助成を求めるものです。

◆意見書第18号 (可決)
地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

- ・カーボンニュートラルの実現を確実にすること。
- ・海水温上昇に伴う水産漁業等被害の実施調査を行うこと。
- ・被害対策の策定と支援を行うこと。
- ・長期的な水産振興策の策定と支援を行うこと。などを求めるものです。